

令和元年度 第3回 運営推進会議開催報告書

会議名 大野和光園和らぎの里運営推進会議
施設名 指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里
サービスの種類 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催場所 指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里 地域交流スペース
開催日時 令和元年年9月25日(水) 13:30～14:30

<運営推進会議出席者>

利用者の家族(1名)
地域住民の代表者(春日三丁目上区区長)
地域住民の代表者(大野地区民生児童委員)
大野市民生環境部 健康長寿課

<施設職員出席者>

和らぎの里施設長
介護支援専門員
介護課長補佐
機能訓練指導員 (会議録作成)

<議事録>

1. 和らぎの里 施設長挨拶

2. 活動状況報告について説明

- ・ 入居者・短期利用者状況
 - ・ 医療状況
 - ・ 行事活動状況
 - ・ ボランティア受入状況
 - ・ その他の報告
- ☆入所判定委員会
☆事故報告書について詳細説明
- | | |
|-------|----|
| 物損、紛失 | 3件 |
| 誤薬 | 1件 |
| 打撲、骨折 | 1件 |
| 投薬忘れ | 1件 |
| 転倒、転落 | 1件 |

☆地域交流スペースの利用

- ・ 研修内容

3. 活動報告への質問や意見、その他意見交換

☆Q アンガーマネジメント研修とはどんな研修なのか。

A 怒りの感情のコントロールについて学ぶ研修であった。怒りをコントロールすることはストレスにも影響があり、学ぶ機会が多くなっている。

☆Q リスクマネジメント研修とはどんな研修なのか。

A 身体拘束を防止するための研修で、どんな対応が身体拘束になるのか、不適切ケアとはどんな対応のことなのかを学ぶ研修であった。

☆Q 米寿・長寿者お祝い会とはどんな行事なのか。

A 和光園は満年齢88歳を迎える年で米寿、満年齢99歳を迎える年で白寿のお祝い会を行っている。記念品贈呈や餅つき、祝膳等で祝った。

百寿者訪問は、県の事業を今年度から大野市が移譲され、9月18日に市職員により内閣総理大臣の表彰状と銀杯が贈呈された。

☆Q 事故報告の誤薬とはどんな状況の事故だったのか。

A 湯飲みに薬を溶かしてキッチンの台の上に置いたが、介護員が場所を離れた後に無くなっていた。利用者が飲んでしまったのか、キッチンに流してしまったのか真相はわからないが、疑いがありリスクを考慮し状態確認をおこなった。

☆Q その時に服用できなかつた薬は足らなくなるが、どう対応しているのか。

A 薬の内容を確認して、絶対服用しなくてはいけないと思われるものに関しては、病院に連絡し、必要なら処方していただくようお願いをする。

☆Q 同性介助を希望する利用者への対応はどのようにしているのか。

A 現在、和光園の男性介護員は増加している。ローテーションで介護に入ることもあるが、同性介護を希望する利用者に対しては、できる限りの配慮を行っている。

☆Q 中国人を雇うと聞いているが、いつ頃から勤務するのか。

A 今回、技能実習生としての受け入れ予定しているが、福井県では初めてのことで手続き等に時間がかかり10月頃からの予定が冬頃になる予定。
日本語レベルN1～N4の段階があり、4名全員が日常会話ができるN3に合格した優秀な方ばかりである。受け入れる側の職員も日本語対応の勉強を受けた。
アパート契約も済んでいて、住める状況になっている。雇用は3年～5年、最長8年である。
健康保険加入のことなど、今後の状況はまたご報告させていただく。

次回開催予定： 令和元年11月27日（水） 13:30～